

平成 2 7 年洞爺湖町教育委員会第 6 回臨時会会議録

日 時	平成 2 7 年 1 2 月 2 2 日（火） 1 3 : 3 0 より
場 所	役場第 1 委員会室
出席委員	委 員 岩 原 義 美 委 員 吉 田 聡 委 員 増 山 和 世 委 員 来 栖 由 喜 教 育 長 綱 嶋 勉
欠席委員	
説明員	管理課長 天 野 英 樹 社会教育課長 永 井 宗 雄 社会教育課主幹 角 田 隆 志
会議録調整者	管理課主幹 佐 藤 融
傍 聴 者	無し
日 程 第 1 【開会宣言】	岩原委員長 開会を宣言する。（1 3 : 3 0）
日 程 第 2 【前回会議録の承認】	岩原委員長 各教育委員の署名により、承認を確認。
日 程 第 3 【教育長諸般の報告】	綱嶋教育長 1 2 / 2 国指定史跡入江高砂貝塚保存整備委員会（防災研修ホール） 1 2 / 2 ～ 3 町政懇談会（洞爺総合センター、農業研修センター） 1 2 / 3 定例校長会（役場） 1 2 / 7、1 0 町政懇談会（成香愛郷の家、月浦集会所） 1 2 / 1 4 定例教頭会（役場） 1 2 / 1 5 ～ 1 7 町議会 1 2 月会議（議場） 1 2 / 2 2 教育委員会第 6 回臨時会（委員会室） 岩原委員長 只今の教育長の報告につきまして何かご質問ございませんか。 ≪「ありません」という人あり≫ 諸般の報告を終わります。

日 程 第 4

【 報 告 事 項 】

・ 報告第 26 号

岩原委員長

日程第 4、報告事項、報告第 26 号臨時代理の報告について、よろしくお願いします。

天野課長

2 ページになります。報告第 26 号臨時代理の報告について、洞爺湖町議会平成 27 年 12 月会議提出補正予算について、第 6 号です。洞爺湖町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成 18 年洞爺湖町教育委員会規則第 4 号）第 2 条第 1 項の規定により別紙のとおり、臨時代理をしましたので、同条第 2 項の規定によりこれを報告するものです。3 ページにつきましては、教育長から町長宛に補正予算に対する異議がない旨の通知、4 ページにつきましては、町長から委員長宛の補正予算に対する意見を求める通知、実際の補正につきましては、5 ページ以降になります。6 ページをお開き下さい。6 ページの歳入です。14 款、国庫支出金、2 項国庫補助金、6 目、教育費国庫補助金、1, 273, 000 円の減額補正です。これにつきましては、洞爺地区の 29 人乗りのスクールバス、今年度の購入ですが、入札の執行残で低くなりましたので、補助金が減額なるということでの補助金 1, 273, 000 円の減というものです。補助金の名称は市町村合併推進体制整備費補助金で、1, 273, 000 円減になります。

17 款、寄附金、1 項、寄附金、1 目、一般寄附金です。100, 000 円の増額補正です。これにつきましては、指定寄附です。洞爺地区の小・中学校の図書購入ということで 50, 000 円、それから虻田読書の家のナナカマド文庫ということで 50, 000 円、それぞれ 50, 000 円ずつの指定寄附がありましたので、合計 100, 000 円というものです。

続きまして、7 ページ、歳出になります。10 款、教育費、1 目、教育総務費、3 目、諸費です。231, 000 円の増額補正になります。18 節、備品購入費 1, 703, 000 円の減につきましては、内訳ですが、図書購入費で 50, 000 円。これは先ほど言いました洞爺地区のとうや小学校、洞爺中学校の図書購入費ということで 50, 000 円。ここで組んでいます。それから、車両購入費 1, 753, 000 円というのは、先ほど申し上げました洞爺地区のスクールバス、29 人乗りの購入費の入札執行残で 1, 753, 000 円で、備品購入費で合計 1, 703, 000 円の減。19 節、負担金補助及び交付金 1, 934, 000 円の増額補正ですが、1 点目、私立幼稚園就園奨励費補助金ですが、これにつきましては、対象児童が 28 名から 36 名の増ということで 1, 254, 000 円、2 点目、北海道虻田高等学校を支援する会補助金 680, 000 円ですが、これにしましては、虻田高校バレー部寮移転に伴う宿舍の補修等ということで、新たに松よしさんに移転したことにより、旅館なので、客室に棚等、全くありませんので、バレー部を移転したことによって、子供たちが生活するために若干、建物を改修させていただきました。その修繕に 680, 000 円というものです。

日 程 第 5 【 議 決 事 項 】 ・ 議案第 3 2 号	続きまして、2項、小学校費、1目、小学校管理費です。1, 151, 000円の増額補正です。11節、需用費1, 060, 000円の修繕料につきましては、とうや小学校のグラウンドの照明盤の修繕、それから、虻田小学校の体育館の照明の玉切れ、漏電の修繕、同じく虻田小学校ホールの黒板の修繕、石像の修繕ということで、玄関前にある二宮尊徳の台座等がひび割れ等ありましたので、その修繕となっております。 続きまして、18節、備品購入費91, 000円につきましては、とうや小学校体育館の放送用のアンプが古くて壊れたのですが、部品がないということで、更新をしたというもので91, 000円の増額補正となっているものです。 それから、3項、中学校費、1目、中学校管理費につきましては、1, 000, 000円の増額補正です。19節、負担金補助及び交付金1, 000, 000円ですが、これは温泉中学校の閉校記念事業に係る協賛会の補助金ということで1, 000, 000円ということです。 5項、社会教育費については、永井課長から説明いたします。 永井課長 歳入の先ほどのナナカマド文庫からの50, 000円の寄附がありましたが、10款、教育費、5項、社会教育費、まず4目になりますが、図書館費で50, 000円、指定寄附となりますので、図書購入費で50, 000円です。3目、社会教育施設費ですが、これは所管が洞爺総合支所の補正です。所管ではありませんが、内容につきましては、洞爺総合センターの施設の清掃及び管理の嘱託職員の賃金単価の改正及び祝祭日の出勤に伴う賃金の増額となります。以上です。 岩原委員長 只今の報告につきまして何かご質問ございませんか。 図書の購入の寄附があったということですが、これは本人からの指定で、とうや小学校とかという形であったのですか。 天野課長 毎年、洞爺温泉病院から洞爺地区の小・中学校の図書の充実ということで指定でいただいています。 岩原委員長 他に何かございませんか。 « 「ありません」という人あり » なければ、報告第26号臨時代理の報告については終了いたします。 岩原委員長 続きまして、日程第5、議決事項、議案第32号洞爺湖町保育所条例施行規則の一部改正についてお願いします。 天野課長 8ページになります。議案第32号洞爺湖町保育所条例施行規則の一部改
---	--

正について、洞爺湖町保育所条例施行規則の一部を改正する規則を次のように定めるものです。

初めに、この改正の趣旨ですが、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、平成25年法律第27号で公布されていますが、いわゆるマイナンバー制度と言われるものが、いよいよスタートしていくこととなり、保育所の入所等に係る申請書等にこれらのマイナンバー制度の番号、12桁を入れるという法律の規定もありますので、保育所につきましては、教育委員会が行っているということで、様式の改正を行います。マイナンバー制度については10月からそれぞれ個人には通知が行っているとは思いますが、説明では社会保障、税、災害対策分野となっていますが、などでということで保育所もマイナンバー制度を利用するということになります。次のページの様式の実際が変わるところですが、11ページをお開き下さい。様式の改正となりますので、文書で書いてありますが、左側、改正のところに文書で載せております。「申請児童」欄及び「申請児童同居者」欄に個人番号記載を追加します。それから「申請児童同居者」欄の前年度分と当年度分の「市町村民税課税有無」欄及び「備考」欄を削除ということで、9ページに戻っていただきまして、表面の上の方に申請児童欄の下に12桁入るように欄を設けています。それから、下の世帯の状況で申請児童の同居者ということでそこにもそれぞれ、12桁の欄を設けております。右側の勤務先、学校名等の横の「備考」欄を削除しました。裏面の改正はありません。このような改正になっているものです。8ページに戻っていただきまして附則です。この規則は平成28年1月1日から施行するものです。以上です。

岩原委員長

只今の洞爺湖町保育所条例施行規則の一部改正について説明がありました。が、これにつきまして何かご質問ございませんか。

来栖委員

この申請書はどこが管理するのですか。

天野課長

教育委員会です。

来栖委員

これは保育所にはいかないものですか。役場に保存されるのですか。

天野課長

申込みいただくときに、保育所にも渡したりしますが、必ず役場に戻ってきて、教育委員会が管理を行っていきます。

岩原委員長

他にございませんか。

吉田委員

今後の教育行政全般に関わるマイナンバーの位置づけというのは、当然、すべてのことについてマイナンバーの絡みが出てくると思うのですが、段取りというか。

天野課長

現在のところ、今、法律で指定されている保育所の関係が、法で指定されているものですから、保育所の関係につきましては、マイナンバーを使いなさいと。使うことによって、課税証明とか添付しなくていいですよ。正式にはまだ通知は来てないのですが、そういう添付書類の省略ができるということになりますので、基本的にはやらなくてはなりません。事務ですから、この様式の改正をします。あと、その他、若干、独自事務というものがありまして、就学援助の関係、育英資金と全く町の独自の事務があるのですが、それについては、マイナンバーそのものを使わなくても基本的に元々添付して下さいということで、必ず持ってきてもらっているということもありますので、あえてマイナンバー使わないと事務処理ができないということではないので、今のところ使う予定はありません。ただし、来年から始まりますが、不都合はないだろうという想定で事務方は見えていますので、申請状況見ながら、今後もマイナンバーを使うかどうか判断していくことになります。

岩原委員長

児童生徒には今のところ、こういうマイナンバーに関わる申請とか、管理の仕方というのはないのですか。

天野課長

今のところ想定しておりません。

岩原委員長

他に何かご質問ございませんか。

来栖委員

経理処理だと書類は7年保管という義務があつて、私たちは7年保管しなくてはならないので、税務署の方から教えてもらって黒く消してしまつて7年保管してくださいと。こういうのは1年ごとに廃棄するのですか。

天野課長

1年、3年等、文書保存規程で決まっておりますので、その書類によって保存年限が決まっています。

岩原委員長

マイナンバーの管理の仕方というのか、官庁はもちろんですが、事業所等においても大変難しいというふうに言われている状況の中で、いよいよこのマイナンバーがスタートするのだなと。そういう観点では、委員会としても文書の扱いを一層大変になってくるのかなと思いますが、よろしくお願ひしたいと思います。

他にこの件につきましてございませんか。

《「ありません」という人あり》

それでは、只今の説明があつたように、マイナンバー制度が施行されるに当たりまして、この申請用紙の様式が変わるということです。

承認してもよろしいでしょうか。

《「はい」という人あり》

・議案第 33 号

議案第 32 号洞爺湖町保育所条例施行規則の一部改正について、承認することといたします。

続きまして、議案第 33 号さくら保育所の休止についてお願いいたします。

天野課長

12 ページになります。議案第 33 号さくら保育所の休止について。

さくら保育所の入所児童減少に伴い、平成 28 年度については休止することについて議決を求めるものです。これにつきましては、平成 25 年度に洞爺地区の高台の方、保護者の皆様と協議を行いまして、利用 6 名以上あれば開設をするということの協議のもとで、毎年度、対象者の保護者の皆様に利用するかしないかのアンケートをとって、保育所の開設、休止の決定をさせていただくということで、来年度についてはアンケートの結果、利用したいというのは 2 名の子どもしかいないので、6 名以上であれば開設するという協議の結果、基準を満たさないということで、平成 28 年度についても、休止をするという決定をいただきたいというものです。なお、平成 26、27 年度も休止ということで、3 年連続という形になります。以上です。

岩原委員長

さくら保育所の休止ということで、児童は 2 名しか利用しないということで、平成 28 年度についても休止するという報告ですが、よろしいですか。

吉田委員

利用希望の 2 名については、代替でどこに通うのかは決まっているのですか。

天野課長

洞爺地区の高台の方なので、洞爺保育所に行くだろうと思いますが、そこまではアンケートでとりませんので、わからない部分もあります。

岩原委員長

他に何かございませんか。

« 「ありません」という人あり »

議案第 33 号さくら保育所の休止について承認してよろしいですか。

« 「はい」という人あり »

議案第 33 号さくら保育所の休止について承認することといたします。

日 程 第 6

【 協 議 事 項 】

・協議第 2 号

岩原委員長

続きまして、日程第 6、協議事項、協議第 2 号学校訪問の総括についてお願いいたします。

天野課長

13 ページになります。協議第 2 号学校訪問の総括についてです。学校訪問の総括について別紙のとおり、協議をするというものです。学校訪問につきましては、今年度につきましては、10 月 22 日、26 日、11 月 9 日、11 日ということで 4 日間に分けて、それぞれ町内の小・中学校、洞爺高校及び虻田高校を訪問させていただいたところです。各学校の訪問に当たって、

それぞれ事前に学校課題ということで各学校に提示を事前にさせていただいたところですが、まず、小・中学校におきましては、4点ほど提示させていただきました。

1点目、各学校における現時点の最重要課題は何か。2点目が学力向上について具体的な取り組みの内容、それから3点目、いじめの実態と対応について、4点目に特色ある教育の取り組み状況についてということの課題を出していただきました。洞爺高等学校については、閉校に向けた取り組み状況について、それから3年生の進路状況について。虻田高等学校については、地域キャンパス校の現状について、2点目生徒確保対策について、3点目が3年生の進路状況についてというように、それぞれ課題を事前に提示をさせてもらって、資料を作っていただいて、当日の説明、それから、懇談という形をとらせていただきました。

各学校の訪問の概要については、14ページから21ページまでそれぞれまとめております。ご記憶にあると思いますので、そこはちょっと割愛をさせていただきまして、委員会まとめということで、今、1枚お配りさせていただきました案を事務局で作らせていただきましたので、ご検討、協議をいただければと思います。

ご説明いたします。委員会まとめ案です。まず、1点目各小・中学校における現時点の最重要課題についてということで、各学校から現時点における最重要課題について説明を受け、他事項は次のとおりということで、虻田小学校については落ちついた学校生活、それから、温泉小学校について保護者とのトラブル、とうや小学校については通常学級における支援が必要な児童への対応、虻田中学校は不登校生徒への対応、生徒減少への対応、温泉中学校については、少人数に対応した教育課程の編成実施、生徒数減少に伴う教職員の減少により免外教科担当者の増加、それから洞爺中学校は生徒が少ないということで、洞爺中学校については大きな課題はございませんという話ではあったのですが、強いて言えば生徒が少ないという校長先生のあいさつの中にもありましたので、生徒が少ないという形であえてここで載せていただきました。

一つ目の課題のまとめですが、各学校からの最重要課題の説明と意見交換を踏まえ、年々増加傾向による不登校生徒への対応が急務と考えられることから、教育委員会として課題解決に向けた新たな方策を検討する。

二つ目の課題ですが、学力向上についてです。各学校から平成27年度全国学力・学習状況調査の結果並びに学力向上の取り組みを伺った。全国学力・学習状況調査の結果については、学校間の差はあるが、それぞれに学力向上に向けた取り組みや熱意が伺え、一部学校においては、その努力が数値に表れてきている。学力向上に向けた取り組みを支援するため、引き続き、学習支援員や特別支援教育支援員等の配置などに努める。当町では、スタンダード10の取り組みを進めているが、今回の訪問時に一部学校の授業において、授業の目当てが黒板に書かれていないで進められていたものがあり非常に残

念であった。教育委員会としては、スタンダード１０の取り組みの徹底を各学校に求めていくこととする。

三つ目の課題、いじめの実態と対応について。いじめについて現在ないか、あったが解決済み等であった。いじめの芽はどの子供にも生じ得ることから、日ごろからいじめが起きない学級経営に努めてもらうためＱ－Ｕテストの実施など引き続き学校を支援していく。

四つ目の課題、特色ある教育の取り組み状況についてです。各学校とも工夫を凝らしながら特色ある教育を実施している。今後においても、各学校の取り組み状況を助長するための支援を継続していく。

五つ目、洞爺高等学校です。１１月３日に６４年の永きにわたり、同校の歴史に思いを馳せ、閉校を惜しむ閉校式典が厳かにに挙行された。メイン司会を生徒が行うなど、洞爺高校らしい記憶に残る素晴らしい式典だった。校長をはじめ教職員のご努力に感謝を申し上げる。今後は、最後の卒業生となる３年生２３名が自信と誇りを持って卒業できるよう、同校の取組を支援する。

六つ目、虻田高等学校です。１０月にバレー部寮が移転したが大きな影響もなく、生徒たちは元気に学校へ通っている。地域キャンパス校となったが、生徒募集、部活動支援などに対する補助を継続しながら存続に向け努力をしていく。というようなまとめの案とさせていただきました。よろしくご審議の程お願いします。

岩原委員長

皆さんにも各学校訪問に出席していただき、事務方の方からまとめられていただいたわけですが、皆さんの感想等をちょっと伺いたいと思います。吉田委員さん、特にこの学校はとか、ありましたらお願いします。

吉田委員

昨日か今日、中教審の答申が出ていて、スクールカウンセラー等が載っていましたが、虻田小学校、温泉小学校とかの例を見ると、学校の先生達だけでは、解決できない問題が出てきている状態なので、心理のカウンセラーを目標としては、各学校に１名づつが目標と書いてありましたが、本当の個々の専門家が必要な時代になってきているのではという気がしております。それから、学力向上についても、相当、現場ではご努力なさっているのはわかるのですが、例えば、一部学校で見ると相当まだ、部分的に心配な状態なので、あまり長い目で見過ぎていても、ちょっと子供たちがその先行って大変かなという気もしております。

岩原委員長

来栖委員は何か感じられたことは。

来栖委員

私は２日間しか出席することができなかったのですが、出席できなかった温泉小学校の保護者のトラブルというのが書いてあったので、後で聞いてみようかと思っていたのですが。

岩原委員長

増山委員はどうですか。

増山委員

虻田小学校については、本当に心配をしております。今まで以上に手厚くしていただきたいなというのがあります。

温泉小学校の問題では一時しのぎではダメなくらい心配しております。大変だなと思ったのが、温泉小学校でした。

虻田中学校は行きたかったのですが、関わっている子供も多いので。学校の雰囲気とか先生方が変わってきたのか、宿題も莫大な量を休みに出すようになって、システムが他の伊達の方とか聞くと似たような、学習の量というか、私が聞いているだけの伊達、室蘭レベルの量を一気にだされて、子供たちはびっくりしています。今までの先生方は下の子を救っていたような虻田中学校のやり方だったと思うのです。今までの下の子に合わせて、できる子は塾に行きなさいというのではなく、学校の雰囲気が変わってきたのかなって、私も子供も驚いていますが、頑張ринаさいと言って応援しています。

虻田高校は、専門になりましたが、進学のおすすめ枠がありますが、看護だとか、専門分野のところに行くときに、推薦があるのかって懸念しています。今時ですから、ほとんどの高校は推薦で大学に行かせようってなっているの、どれぐらいの推薦枠があるのかって知らない人もいます。行こうと思えばちゃんとデータを調べるのでしょけれど、伊達とか緑ヶ丘とかは、看護の方だとか、今は保育がすごいのですよね。幼児教育とかすごく流行っているという、就職も難しくなっています。

来栖委員

情報行って、看護の方に行こうとは思わないから。問題ないんじゃないですかね。

虻田高校で資格を3つ取ると札幌大学に行っても、授業料半額とか。そういう制度があって、札幌学院にもありますから。虻田高校のバレエ部の子とかは、1級3つ取って半額とか。実現しているから、私はそんなに問題ないんじゃないかなって思います。

増山委員

PR不足というか、専門的になるから、分野的に札幌大学でいって行く子はいいいけど、何か違う取得するそれこそ、看護とか幼児教育とか、違う分野のところに行きたいと思っていたら、普通学校は行けますよね。色々枠があって。でもそうなった時に、あるのかなって私に関わっている子たちは、それで辞めた子もいるのですよね。手に職をじゃないけども、職をもってという特に女の子が多くて、そうなった時に経済的には虻田高校がいいのだけでも、そういうのがないのかなって。今、幼児教育に行きたいという子がいて、それはあるって言うのですよね。虻田高校の中で。どういう分野があって、どの分野がないっていう、もう少し情報が町内の子ども達にあれば、もっと虻田高校に行く子が増えるのかもしれないから、PRをしていただけれ

ば。

綱嶋教育長

従来、校長からよく話題が出るのは、それぞれの高校に大学の推薦枠はある。生徒が多いとそれだけ推薦枠に入るかどうかという競争。それからいうと一定のレベルがないと推薦はできないと思いますが、虻田高校には従来からの推薦枠があってという話はされますが、具体的にそういう中身のPRをする。こんな教育で資格はこういうのが取れる、そのような積極的な説明を求めている。

来栖委員

推薦枠は、1個ダメになったら、ダメになりますから。問題ある生徒が落ちたら、来年から推薦を止めますっていうことがあるから。それは言えないと私は思います。ただ、伊達高校は、推薦枠歴史があるから多いよって。緑ヶ丘より多いよって。私たちの子供のころからあるし、そういう話っていうのは、子供同士で歴々の先輩たちからここは取りやすいよとか。緑ヶ丘は看護が多いよって。でも、緑ヶ丘で看護に行くんだったら、伊達高行って看護行った方が推薦枠広いんだよっていうのは、子供たち同士の方がよっぽど知っている。

吉田委員

リストとして、虻田高校はどここの大学に推薦枠がありますよって。

増山委員

より一層そのメリットがすごくありまってるということをPRすれば。

岩原委員長

他に何かございませんか。

吉田委員

さっき、増山委員から虻田中学校の学習の面で話がありましたが、私は虻田中学校で一番気になったのは、不登校の生徒があれだけいて、その対策の早い手当が必要なんじゃないかと思って。

岩原委員長

私も虻田中学校の不登校について、保護者の関わり方に非常に苦労されている様なのですが。何か手だてっていうものを早急に立てていかなければならないのかなっていう感じと。前の会議にも出ていましたが、スクールカウンセラーを、少ない予算なんでしょうけれども、確保することができないかなと。長い時間、伊達の方から来ていただいているのですが、もう少し長い時間を洞爺湖町の小学校、中学校に関わってもらえるシステムというか状況をつくれないうようなことはちょっと感じておりました。

綱嶋教育長

前回の議会でも出ていまして、現状では今、お願いしている人は伊達中と光陵中の発令されている、時間の制限はあります。各学校現場には、予算がないとかっていうことじゃなくて、必要があれば教育委員会を通して要請する。ただ、伊達に決まった曜日、時間、それ以外でないとダメなんです。違う人

	を新たに要請するのも、専門的な方なので、資格を持っていても経験がないと中々実りあるものというか結果を出せないという部分もあります。 吉田委員 できれば、洞爺湖町に1人専任のカウンセラー、コーディネーターを。コーディネートもできるようなカウンセラーでないと、そういう専門の先生がいないと大変だと思うんですね。 増山委員 話が変わるのですが、虻田中学校の不登校の生徒は何人くらいいるのですか。 綱嶋教育長 病気も含め、毎月8人から10人くらいです。 岩原委員長 他の話題で何かありませんか。 洞爺中学校は非常に良くやられているなという感じはしました。しいて言えば、生徒が少ないということが、校長が話していましたが。 あと、虻田小学校はまずは落ち着いて勉強できるような環境をつくるのが先ではないかと。洞爺高等学校は、あれだけの生活ができるようになったなど、そんな感じがしております。 とうや小学校も良くやられているのですが、公開授業参観日、学校訪問の時もそうですが、一部学年で落ち着きがない。 吉田委員 とうや小学校は、次年度の1、2年生の話は。 岩原委員長 この後の協議会で。 学校訪問について、何かございませんか。 ≪「ありません」という人あり≫ 日程第6、協議事項、協議第2号学校訪問の総括についてはこれで終了いたします。
日 程 第 7 【 そ の 他 】	岩原委員長 日程第7、その他について何かございますか。 ≪「ありません」という人あり≫
日 程 第 8 【 閉 会 】	岩原委員長 以上をもちまして、平成27年第6回臨時会を閉じます。ご苦労さまでした。 14：48 閉 会